

移動博物館 □□□□□□□

「平塚の野鳥展」

野鳥写真とはく製の展示、バードウォッチングをします。

旭北公民館 2月22～24日

松原公民館 3月16～17日

展示 9時30分～16時30分

バードウォッチングの会

土曜14時、日曜10時



星を見る会

博物館の望遠鏡で、月や星を観望します。

松原公民館 2月2日 17～19時

金田公民館 2月16日 18～20時

旭北公民館 2月23日 18～20時 (旭小校庭)

花水公民館 3月2日 18～20時

天気がよくない場合は、各公民館でスライドを上映します。(旭北では、旭公民館)

小学生はおとなの人といっしょに来て下さい



「平塚のナウマン象展」

平塚の吉沢で発見された、ナウマン象の骨や歯などを展示します。

吉沢公民館

3月7～8日 9時～16時30分



2月の行事

1	金	
2	土	プラネタリウム、古文書講読会 移動博物館（松原・星を見る会）
3	日	プラネタリウム
4	月	（休館日）
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	プラネタリウム、土曜観察会 石仏を調べる会
10	日	プラネタリウム、地層観察会
11	月	（休館日）
12	火	（休館日）
13	水	
14	木	デッサン教室
15	金	デッサン教室
16	土	プラネタリウム、古文書講読会 移動博物館（金田・星を見る会）
17	日	プラネタリウム
18	月	（休館日）
19	火	
20	水	体験学習「画集を作ろう」
21	木	〃
22	金	移動博物館（旭北・平塚の野鳥展）
23	土	〃（〃・星を見る会） プラネタリウム、土曜観察会 石仏を調べる会
24	日	プラネタリウム、地層観察会
25	月	（休館日）
26	火	
27	水	
28	木	（休館日）

博物館では、いろいろな行事を企画して、みなさんの参加をお待ちしています。行事案内は、各月の「はくぶつかん」の他、「広報ひらつか」等にも掲載されています。申込方法を御覧のうえ、お申込み下さい。

★☆行事案内☆★

●プラネタリウム「ハレー彗星 PARTⅢ」

76年に一度というハレー彗星の回帰が、いよいよ次の冬に迫りました。すでに探査機もいくつか打ち上げられ、観測の態勢を整えようとしています。

私たちからは、いつごろ、どのあたりに見られるのでしょうか。プラネタリウムの空と、コンピューターグラフィクスの映像等により、紹介します。（2月24日まで）

●自然観察会「高座丘陵をたずねて」

高座丘陵をたずね、冬の鳥や春の花、丘陵の地層などを観察します。

日時 3月10日（日） 9時～16時
（雨天のときは中止）

コース 茅ヶ崎市赤羽根付近

申込み 往復はがきで、2月28日までに博物館までお申込み下さい。多数の場合は、抽せんにより30名までといたします。

●体験学習「拓本墨を作ろう」

石に刻まれた銘文を、書かれた当時のままに写し取る技法のひとつに拓本があります。拓本墨を自分たちで作る、拓本の作り方を学んでみましょう。

日時 3月17日（日） 10時～15時

材料費 1人500円

申込み 往復はがきで、博物館までお申込み下さい。締切りは3月9日。多数の場合は抽せんにより15名までといたします。

●寄贈品コーナー

「四之宮下郷遺跡展」

129号線拡幅工事に伴う四之宮下郷遺跡の発掘調査が、昨年完了しました。掘立柱建物址、住居址、井戸址や鈔、墨書土器、緑釉陶器をはじめ多数の遺構・遺物が発見されました。官衛的性格をもつ遺跡として、大変注目されています。今回、平塚市教育委員会社会教育課の御協力により、鈔・墨書土器を中心に、資料の一部を紹介します。

（27日まで）

昨年10月28日に催した体験学習「紙をすこう」に参加した方から、感想文をいただきました。

和紙をすいて



この「紙をすこう」は、博物館の体験学習ということだったので、参加するのは、ほとんど小学生だろうと思っていたので、最初は、何となく気恥ずかしかったのだが、実際にはもちろん小学生もいたが、主婦や、学校の先生といった、一般の方も、多く来られていたので、まず、そのことに、びっくりした。

僕は、大体において単純な人間なので、紙を作るということも、単に、木を採ってきて、それを乾燥させて、こまかくして、すけばいい、とこのくらいにしか考えていなかったのですが、講師の先生の説明を聞いていて、かなり複雑な工程が、たくさんあるので、さすがに伝統工芸は、たいへんだと今さらながら、感心してしまいました。

そして、いよいよ、実際に、紙をすくという段階になったのだが、講師の方の、熟練した手さばきは、さすがに何十年もやってこられただけあって、見ていてため息がでるほど素晴らしい。そういうのを目の前で、見せられてしまうと、自分でやるのが恥ずかしくなり、今度こそは自分がやろう、と思っていたけど、ついつい他の人に譲ってしまい、結局、かなり後の方で、やっと自分で体験してみるということになってしまった。

実際に自分で、紙をすいてみると、さすがに、難しいものの、素人がやってもそんなに、手も

足もでないということはなく、器用な人がやれば、なんとか無難にこなせる、といったような感じであった。後で、講師の方たちと、話をしておわかったことであるが、紙すきで一番大変なのは、すぐ段階ではなくて、それ以前の、樹皮からごみを取り除く、「ちり取り」の作業だそうである。この作業も、実際にやってみたが、やたらに時間がかかるわりに、量がこなせず、精神衛生上は、あまりよくないものであった。これを昔は、冬でも冷たい川の流れの中で、しかも素手でやっていたそうであるから、やはり、一番きつい作業だということは、よく納得できた。

また僕は、和紙というものは、コウゾ、ミツマタ、ガンビ、の三種類の木からだけしか作れないと思っていたが、繊維のある植物、つまり、ほとんどのものから、紙を作ることができるということを知り、とても驚いてしまった。

そうこうしているうちに、都合4枚の紙をすいており、早速家に帰ってから、窓にベタベタとはって、かわかしたところ、ハケできちんとのばさなかったのがいけないらしく、所々しわができていたが、何といたって自分ですいた紙であるので、愛着を感じ、折にふれては横目でちらりとみて、ニヤリとする自己満足の世界にひたっている、今日このごろである。(江南高1年 宇都信彦)

2. 百姓および百姓身分

江戸時代は、別の言葉で言えば身分を重んじる社会であったといわれます。戦国期から江戸時代の初めまでの間に、支配身分である武士の下に、平民身分として、農・工・商がおかれ身分制度として作りあげられました。特に、農民は、年貢収奪の対象となり、平民身分の中では身分的な束縛が最もきびしかったといわれます。江戸時代の農民は、江戸時代はじめの土地改め（検地）によって年貢を負担する者が農民と公認され、百姓と呼ばれました。今日、百姓という言葉は、ややもすると人をさげすんで言う呼び名に用いられますが、江戸時代の百姓は、社会の中核として最も重要な地位にあったといえます。

ところで、江戸時代の農民をすべて百姓として同一視することができるかと言えば、そうではなく、百姓の中にあっても、様々な身分を持つ百姓が存在しました。平塚市域の江戸期の百姓をいう呼び名には、(本)百姓、水呑百姓、小作百姓、譜代(ふだい)門屋(かどや)などがありました。(本)百姓は、村役人と小前とに区別され、水呑百姓は、時に小作百姓と呼ばれ、同義語でもあり、譜代は、本百姓に隷属した百姓として門屋と同じ性格の百姓でした。

江戸時代の村では、耕地の所持高とは別に、長年の慣行による家の格、あるいは格式が尊重されます。そして、その格づけは村内の百姓身分に基づくとされます。弘化4年(1847)真田村では、所持高20石以上を大百姓、10石以上を小百姓と区別し、祭のさい大百姓は袴・袴着用、小百姓は袴着用、所持高5石以上の百姓は白衣着用となっています。また、小百姓は古来から門松・日傘は不用と決められていました。こうした例は、土屋村でも同じで、年次は不明ですが、村内居住の百姓一人一人について、袴・袴・白衣着用を決めた「家格仕来り控」が残されています。

百姓中最下層の譜代・門屋は、本百姓に隷属し



年貢量の算出「徳川幕府県治要略」より

た百姓ですから、普通本百姓誰々譜代誰と呼ばれ一人前の百姓として扱われることもなく、もちろん領主に対し年貢を負担することはありません。

したがって、村内百姓の中にあつて、常に、「百姓末席の者」として位置づけられていました。

文化5年(1808)南金目村、幾八は、この年から、家を単位に領主より課される役「門役」を負担することが許され、一人前の本百姓として村内で認められることになっています。天保10年(1839)大神村では、「百姓末席」の惣八、文左衛門が、年貢米を上納することを条件に、本百姓として、百姓同席を願い出て許されているのです。この惣八・文左衛門は、百姓末席=譜代として、古くから村内では位置づけられていた百姓でした。こうして本百姓化した者も、はじめは、水呑あるいは小作百姓として、文化11年(1814)北金目村小作百姓のように、百姓仲間では余人として、村政には口出しをせず、目立った行動を取ったりしない百姓として居村を許されていたのでした。ともあれ、南金目村の幾八、大神村の惣八・文左衛門は、江戸時代も後期に、年貢を負担する本百姓になることを望み、それを実現しています。このことから、一方で封建社会の根底に流れる村内の身分制の一端が見られると同時に、他方、百姓身分になることが、いかに当時の農民にとり重要であったかがわかります。

(学芸員 土井 浩)